



①ストック然とした状態でリビルドを施したショベルヘッドの1340cc、HカムにS&Sスーパードーム、高圧にはダイナ2000というセットアップ。②オープンプライマリーにアペルト、ミッドコントロールを薄める。スターターには表面加工を施し黒色のようにしている。③サドルシートはWORKIN製、表皮にはホースハイドを使っている。



④メイン軸のワイ、ジュネーションフレームを巻、軽量化とショベルヘッドに仕上げている。

ほぼストック然とした状態を留めるようにしてリビルドされた1981年のショベルヘッド、その1340ccのエンジンをVツイン製のウイッシュボーン・リジッドに搭載したこのカスタムは、この手のスタイルに対して造詣の深い千葉県八街市のショップ、シュアショットによって手掛けられたもの。H-Dの旧車に対してビギナー然としたオーナーに合わせ、そのセットアップは上質ではあるが、敢えてカスタムとしては無難かつオーソドックスな線に抑えられたものとなっている。

創り手であるシュアショットの相川拓也が言うところでは、その具体的なコンセプトを「肩ひじを張らずに普段のアシに使えるショベルリジッド」としたとあり、それ故に極力、このカスタムでは奇を衒うようなアプローチは避け、先ずは扱い易さと確実性を優先、そうしてカタチとなった答えがこのショベルのリジッド・チョッパーであるという。

そこに物珍しさはなくとも、プロの創り手が模索した末に導き出した姿には、それ相応の理由が有るのである。

文＝黒川鏡仁 text by TED KUROKAWA 写真＝伊藤潤一郎 photographs by JUNICHIRO ITO
取材協力＝シュアショット phone 043-312-0900 <http://www.sureshot.jp>

SURESHOT

1981 SHOVEL RIGID

